

あらゆる場面で人権教育を推進しています

全ての子どもたちに、思いやりのある豊かな心を育みたい——。そのために学校では、人権教育の推進に取り組んでいます。

児童生徒が「自分の大切さと共に他の人の大切さを認めること」ができるよう、発達段階に応じ、学校教育全体を通じて人権尊重の精神を育てています。単に知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に現れるよう時間をかけて、子どもたちの心にしっかりと染み込ませていくことを目指し、さまざまな教育活動が行われています。

例えば、異学年交流活動やボランティア活動、地域の人や施設との交流活動、保護者による人権に関する本の読み聞かせ、人権擁護委員による「人権教室」などに取り組んでいます。

これらの活動を通して「自分が必要とされている」という自己存在感を高め「自分が受け入れられている」「共に学び合う仲間だ」という共感的人間関係や思いやりのある

豊かな心を育成しています。

激しく変化していく社会において、いじめ、差別、偏見、インターネットによる人権侵害などが後を絶ちません。一人一人が掛け替えのな



小学校4年生を対象にした人権擁護委員による「人権教室」

い存在として、自分の人権も友達の人権も守ろうとする意識・意欲・態度を育てていきましょう。

「横田会館」が60年の歴史に幕



老朽化が著しい横田会館

横田会館は、千葉県議会議長や初代飯岡町長、衆議院議員などを務め、地域の振興に尽力された横田清蔵先生の功績に報いたいと町民有志により、昭和31年に飯岡中の敷地に建設されました。その後横田先生に贈られ、先生からあらためて町へ寄付されたものです。

町はこれを横田会館と命名し、学校や社会教育施設として広く活用しました。しかし現在は、老朽化が著しく、飯岡中現校舎と併せて解体することになり、約60年の歴史に幕を閉じます。

横田会館に関するくわしい内容は、庶務課施設班(☎55-5722)までお問い合わせください。

校長リレーエッセイ 17



地域に支えられて

鶴巻小学校長
遠藤 和宏

昨年4月に鶴巻小学校に着任し、最初に感じたことは、校庭が緑豊かで美しく、素晴らしい環境であることです。ときがたつにつれ、実はこの環境を維持するためかなりの努力が必要であることが分かりました。普段の学校職員による手入れも必要ですが、何より、年3回行われる奉仕作業が環境を保つ上で大きな力になっていることを知りました。

この奉仕作業は、他校とは少し違った特徴があります。

それは、伝統的に区長の皆さんが中心となり、地域の行事として行われていることです。鶴巻小に子どもが通っていない家庭からも参加し、地域ぐるみで校庭の整備をしています。奉仕作業の後には見違えるほどきれいになり、子どもたちが安心して学んだり遊んだりできる環境が整います。

ほかにも、歯科医を講師に4・6年生で行うさわやか健康教室、PTA役員やJA青年部の皆さんの協力による、全校で行うサツマイモなどの栽培活動など、さまざまな面で支援をいただいています。保護者・地域の方々に支えられ充実した教育活動が行えることに深く感謝している次第です。

学校では、目標として「よく学び、よく遊び、よく笑い、よく働く」児童像を設定し、どの子にも分かりやすい授業づくりや読書の奨励、体育・業間活動の工夫などに取り組んでいます。今後も、保護者・地域の方々と共に日々の教育の充実に向けてまいりたいと考えています。